

施策	26	スポーツの振興	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり
施策主管課	生涯学習・スポーツ課	課長名	松下 徹	内線	5570
		政策担当部長名	教育次長 澤柳 陽一		
施策関係課名	公民館、学校教育課				
重点施策	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画、地域健康ケア計画			

1 施策の目的

目的	対象	市民
	意図	①日常的にスポーツに親しむ ②スポーツ振興の担い手になる

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	住民人口	人	105,691	105,335	104,728	103,947		102,000
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	週1回以上ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合	%	37.8	34.6	37.3	38.1		40.0
②	スポーツ指導者数	人	-	926	927	929		930

(2)成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①スポーツ事業を企画実施する ②スポーツ施設環境を整備する ③スポーツ指導者を育成・派遣する ④スポーツ活動を支援する	①スポーツ事業、講習会の開催回数及び参加者数	① 123 7,487	137 7,988		120
			②社会体育施設の利用者数	② 934,257	1,003,869		950,000
			③スポーツ事業への体育指導委員の派遣者数、指導者養成のための講習会等の回数(延数)	③ 145 6	143 5		160人 7回
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項			
市民等	個人	①ウォーキングやスポーツ活動を実践する ②スポーツを観戦する	①.1 スポーツサークルの数及び所属している人数 ①.2 週1回以上のスポーツを実施している成人の割合(国の目標50%) ②体育協会加盟団体主催の競技大会、講習会に参加した人数	・生涯スポーツ分野では、20地区の公民館及び103集落の公民館分館で多様な体育事業が行われているとともに、約200の社会教育関係団体がウォーキング、ニュースポーツ、健康体操等々の教室活動を展開している。民間事業者のフィットネスジム等も市民の体力維持・向上の場となっている。			
	地域的団体(公民館活動含む)	①気軽にウォーキングやスポーツに親しめる「場」を提供する ②スポーツを通じた良好な人間関係づくりを進める	①②地域のスポーツ活動の開催回数及び参加者数	・競技スポーツ分野では、26の競技団体が加盟する(公財)飯田市体育協会、22団体が加盟するスポーツ少年団、約320の社会教育関係団体が、多様な競技種目の普及・推進を行っている。民間スイミングクラブ等も競技力向上の場となっている。			
	体育協会	①競技スポーツを振興する ②各種スポーツ事業を企画実施する(大会、講習会、講演会)	①スポーツ事業、講習会の開催回数及び参加者数 ②指導者の派遣回数、指導者数	・24年4月より、飯田市体育協会が公益財団法人となり、競技力向上と生涯スポーツの振興に関する公益事業を民主導で展開するための組織体制が強化された。			
事業者	①企業内スポーツを推進する ②各種スポーツ事業を支援する	①企業内スポーツ団体数 ②市主催のスポーツ事業への共催・後援・協賛企業数 ③民間スポーツ事業者数					

3. 平成24年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

- 計画どおり取り組めた
- おおむね計画どおり
- あまり取り組みなかった
- 達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

- 進んだ
- ある程度進んだ
- あまり進まなかった
- 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・日常的にスポーツに親しむ市民割合を高めることと、スポーツ振興の担い手となる市民層の拡大を意図に施策を推進した。(公財)飯田市体育協会、スポーツ推進委員協議会等の多様な主体と協働して、ウォーキングやニュースポーツ等の気軽に日常化しやすい運動の普及推進に重点をおいた取組みを進めるとともに、多様な運動能力をバランスよく向上・維持できるコアディネーショントレーニングの教室開催や指導者育成を行い、一定の成果を出すことができた。

【事務事業群テーマ別の評価】

<スポーツに親しむ契機となる事業の実施>

・第26回飯田やまびこマーチ、第58回風越登山マラソン大会、第29回60歳以上ソフトボール大会、ニュースポーツフェスティバルを多様な主体と協働して開催し、約4,300人の市民参加があった。

<ウォーキングの普及推進>

・保健課、公民館、スポーツ推進委員協議会と連携して、10地区でのウォーキング情報交換会、9地区でのウォーキング講座を開催し、地域レベルからウォーキングを普及促進するきっかけづくりを行った。各地区におけるウォーキング指導体制をつくるためにスポーツ推進委員を対象にしたウォーキング講座を実施した。ウォーキングのシンボル事業として第26回飯田やまびこマーチを開催するとともに、実行委員会の組織体制を強化した。

<スポーツ指導者の育成>

・体育協会と協働して、子どもの運動能力の向上、高齢者の体力・運動能力の維持につながる教室事業の展開を図るため、コアディネーショントレーニングの指導者育成事業を継続開催するとともに、この取組みを通じて設立された指導者組織(飯田市コアディネーショントレーニング実践研究会)の事業運営を支援した。

<スポーツ施設の整備・維持管理>

・施設改修計画と緊急性を考慮して、アクアパークIIDAの設備改修を中心にした社会体育施設の整備事業を実施した。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

・各種スポーツ大会については、実行委員会を組織する関係団体等と連携して、より多くの市民参加が得られる事業とするための改革・改善を行う。

・ウォーキングの普及促進については、未実施地区で教室を継続開催、指導者育成の継続、ウォーキング月間の設定等を通じてウォーキングの更なる普及・定着につなげる。飯田やまびこマーチでは、ノルディックウォーク等の新たなウォーキング楽しみを提案する。

・体育協会と連携して、コアディネーショントレーニングの指導者育成を重点的に進めるとともに、青少年スポーツの指導指針の策定や、研修会の開催等を通じて指導者の資質向上を図る。

・体育協会の協力を得てスポーツ施設の備品整備を進める。市民プールの改修等の施設整備を計画的に進める。施設使用料、減免基準についての見直しを行う。